

平成26年度  
新潟県立加茂農林高等学校  
シラバス

(その1 普通教科編)

普通教科

---

- (1) 国語
- (2) 地理歴史・公民
- (3) 数学
- (4) 理科
- (5) 保健体育
- (6) 芸術（音楽）
- (7) 外国語（英語）
- (8) 家庭



|        |                   |     |      |            |     |
|--------|-------------------|-----|------|------------|-----|
| 教科(科目) | 国語(国語総合)          | 単位数 | 4 単位 | 学年(学科・コース) | 1 年 |
| 使用教科書  | 高等学校新編国語総合(第一学習社) |     |      | 授業形態       | 必修  |
| 副教材    | 基本級別漢字(浜島書店)      |     |      |            |     |

1 科目目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 学習計画

| 月  | 学習項目                                     | 学習活動(指導内容)                                                                                                                                                        | 時間        | 評価方法          |
|----|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------|
| 4  | 漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)                    | ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。                                                                                                                                   | 3h        | 課題提出<br>漢字テスト |
| 5  | 「人はなぜ宇宙を思うのか」<br>【表現】                    | 筆者が自らの考えをどのように整理し表現しているか考える。                                                                                                                                      | 8h        |               |
| 6  | 「指」<br>【表現】                              | きまりに従って文字の書き分けができ、仮名遣い・送り仮名などが正しく書けるようにする。<br>登場人物のやりとりを心理の流れに注目しながら整理する。また言動から心の動きを読み取る。                                                                         | 10h       |               |
| 7  | 古文を読むために1                                | 基本的な原稿用紙の書き方を身につける。句読点の原則的な使い方を身につける。<br>現代文と古文との違いを認識する。(歴史的仮名遣いとその読み方・古語について)                                                                                   | 10h       |               |
| 8  | 漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)                    | ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。                                                                                                                                   | 3h        | 課題提出<br>漢字テスト |
| 9  | 「鳩と蟻のこと」<br>【表現】                         | 古語辞典を利用して古語の意味を知り、それを手がかりに現代語訳する手順を理解する。                                                                                                                          | 4h        |               |
| 10 | 「児のそら寝」<br>【表現】                          | 登場人物の心の動きをとらえ、古典を読む楽しさを味わう。<br>熟語構成・四字熟語・類義語・対義語など熟語について基本を理解する                                                                                                   | 6h<br>8h  |               |
| 11 | 「日本語のこころ」<br>訓読に親しむ(一)<br>(二)(三)<br>【表現】 | 外国語と日本語の表現の比較を読むことで身近な日本語の表現の特徴、日本人の考え方の特徴に気付く。<br>漢文を学習する上での基本的な事項を身につける。(返り点・送り仮名・書き下し文・再読文字・助字)                                                                | 10h       |               |
| 12 |                                          | 報告文や手紙文などを理解し、書けるようにする。また、接続詞や副詞などの正しい係り受けを理解する。                                                                                                                  | 8h        |               |
| 1  | 漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)                    | ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。                                                                                                                                   | 3h        | 課題提出<br>漢字テスト |
| 2  | 「五十歩百歩」<br>【表現】                          | 書き下し文、現代語訳を整理したノートをつくる。<br>孟子の寓意のあらすじをつかむ。<br>敬語の正しい使い方や慣用語の使い方を理解する。                                                                                             | 8h<br>8h  |               |
| 3  | 「羅生門」<br>【表現】                            | 場面の変化による階級分けをした上で主人公の行動・心理の変化を追い、全体の構成を把握する。<br>主人公の心理描写を正しく読み取り、自分なりの感想を持つ。<br>比喩表現、古典的・現代的表現などに注目し、その効果について考える。<br>感想文を書くことを選んで、自分の考えを持ち、それを的確に説得力を持って述べる技法を学ぶ。 | 14h<br>9h |               |

3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                                  | 評価方法                                                      |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 言語・文学に関心を持ち、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。 | 漢字テスト・定期考査・授業中の小テスト・課題や作文の提出状況・授業への参加状況などを総合し、100点法で評価する。 |
| 思考判断表現   | 客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。                    |                                                           |
| 技能       | 筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。                                                                        |                                                           |
| 知識理解     | 新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。                                  |                                                           |

|        |                      |     |      |            |     |
|--------|----------------------|-----|------|------------|-----|
| 教科(科目) | 国語(国語総合)             | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 2 年 |
| 使用教科書  | 高等学校改訂版新編国語総合(第一学習社) |     |      | 授業形態       | 必修  |
| 副教材    | 基本級別漢字(浜島書店)         |     |      |            |     |

1 科目目標

国語に関する基礎的・基本的な学力の定着を図る。国語を的確に理解し表現する力を育成する。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。思考力を伸ばし心情を豊かにするとともに、国語を尊重し、その向上を図る態度を育成する。

2 学習計画

| 月                | 学習項目                  | 学習活動(指導内容)                                              | 時間  | 評価方法                                  |
|------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------|
| 4<br>5<br>6<br>7 | 漢字ノート作成およびその確認(各学期共通) | ノートに書き写すことで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。                         | 2h  | 課題提出<br>漢字テスト<br><br>中間審査<br><br>期末審査 |
|                  | 「身近な動植物の名前を覚えよう」      | 「自然」と「人」との関係について考えることを通して、自己を見つめ直す。                     | 13h |                                       |
|                  | 「矛盾」                  | 漢文の基本的な事項を確認する。(返り点・書き下し文など)話のあらすじをつかみ、現在の意味とのつながりを考える。 | 6h  |                                       |
|                  | 「かぐや姫のおひたち」           | 古語の助動詞の意味を理解し、読解に役立てる。登場人物の行動・心情を読み取る。                  | 15h |                                       |
| 7                | 「詩の楽しみ」               | 詩の言葉にこめられた固有の意味を理解し、味わう。主題を通して作者の考え方やものの見方について考える。      | 9h  | 期末審査                                  |
| 8<br>9           | 「よだかの星」               | 主人公の置かれた状況を整理し、心理と行動の関係を把握する。情景描写に表される心理を読みとる。          | 12h | 課題提出<br>漢字テスト                         |
| 10               | 「短歌の世界」               | 短歌の修辞について理解し、鑑賞方法を学ぶとともに優れた表現を味わう。                      | 12h | 中間審査                                  |
| 11               | 「漢詩の世界」               | 漢詩の基礎知識や決まりを理解する。詩人の心情を読みとり、当時の自然観・人生観について考える。          | 10h | 期末審査                                  |
| 12               | 「体験を書く」               | 修学旅行において体験したことを書く。                                      | 8h  | 課題提出                                  |
| 1                | 「漢詩の世界」               | 2学期の継続                                                  | 6h  | 課題提出<br>漢字テスト                         |
| 2<br>3           | 「筒井筒」                 | 登場人物の境遇を考え、心情を読みとる。和歌の修辞法や効果について学び、和歌に込められた心情を味わう。      | 12h | 学年末審査                                 |

3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                                  | 評価方法                                                   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 言語・文学に関心を持ち、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。 | 漢字テスト・定期審査・授業中の小テスト・課題の提出状況・授業への参加状況などを総合し、100点法で評価する。 |
| 思考判断表現   | 客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。                    |                                                        |
| 技能       | 筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。                                                                        |                                                        |
| 知識理解     | 新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。                                  |                                                        |

|        |                     |     |      |            |     |
|--------|---------------------|-----|------|------------|-----|
| 教科(科目) | 国語(現代文)             | 単位数 | 4 単位 | 学年(学科・コース) | 3 年 |
| 使用教科書  | 高等学校改訂版新編現代文(第一学習社) |     |      | 授業形態       | 必修  |
| 副教材    | 基本級別漢字(浜島書店)        |     |      |            |     |

1 科目目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習計画

| 月  | 学習項目                  | 学習活動(指導内容)                                                     | 時間  | 評価方法                       |
|----|-----------------------|----------------------------------------------------------------|-----|----------------------------|
| 4  | 漢字ノート作成およびその確認(各学期共通) | ノートに書き写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。                               | 2h  | 課題提出<br>漢字テスト              |
|    | 「自分を知ることがいちばんおもしろい」   | 筆者の考える「自分を知る」ことについて理解する。<br>「自分」という存在について考え、自己の内面をみつめるきっかけとする。 | 8h  |                            |
|    | 「他人の夏」                | 登場人物の心理の変化を、行動・表情の細かい描写や会話文などに即して把握する。                         | 12h |                            |
|    | 「我らが内なる『虫』」           | 「虫」に関わる慣用句の意味をとらえる。<br>筆者の考察を理解し、筆者の提起する現代の問題を読み取る。            | 14h |                            |
| 5  | 「汚れつちまつた悲しみに……」他      | 詩の基本的な形式や比喩の使われ方について理解する。<br>作品の主題について考える。                     | 10h | 中間考査                       |
| 8  | 「ナイン」                 | 登場人物の言動から心の動きを読み取り、各登場人物の関係性を理解する。                             | 14h | 課題提出<br>漢字テスト              |
| 9  | 「ステレオタイプの危険性」         | 具体例を参考にしながら、抽象的な論理を的確に理解する。<br>現代社会における「自分」と「他者」の関わりについて考える。   | 12h | 中間考査                       |
| 10 | 「山月記」                 | すぐれた短編小説の持つ、たくみな構成を理解し、小説を読む楽しさを感じ取る。<br>主人公の心の葛藤や生き方について考える。  | 22h | 期末考査                       |
| 11 |                       | 主題を通して、自分の心のありかたや生き方を見つめる。                                     |     |                            |
| 12 | 「そこが空っぽになる」           | 「共生」というキーワードを理解する。<br>一人の作家の生き方から、自分なりの生き方について考える。             | 12h | 課題提出<br>漢字テスト<br><br>学年末考査 |

3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                                   | 評価方法                                                       |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 言語・文学への関心を高め、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。 | 漢字テスト・定期考査<br>・授業中の小テスト・課題の提出状況・授業への参加状況などを総合し、100点法で評価する。 |
| 思考判断     | 客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。                                         |                                                            |
| 技能表現     | 筆者の意見や考えを的確に理解し、論理的にまとめることができるか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。                                                 |                                                            |
| 知識理解     | 新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。                                   |                                                            |

|        |               |     |      |            |     |
|--------|---------------|-----|------|------------|-----|
| 教科(科目) | 地理歴史(地理A)     | 単位数 | 2 単位 | 学年(学科・コース) | 1年生 |
| 使用教科書  | 地理A (第一学習社)   |     |      | 授業形態       | 必修  |
| 副教材    | 標準高等地図 (帝国書院) |     |      |            |     |

## 1 科目目標

現代社会の基本的な地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、世界の諸課題を考察し、社会を主体的に生きる自覚と資質を養う。

## 2 学習計画

| 月   | 学習項目           | 学習活動 (指導内容)                                                                                                                   | 時間 | 評価方法                             |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------|
| 4   | 身近な地図に親しむ      | ○日本の白地図を見て、都道府県名・県庁所在地・主な地形の名称を書けるようにする。                                                                                      | 7  | 中間<br>考<br>査                     |
| 5・6 | 球面上の世界と地図      | ○16方位を全て理解する。<br>○地図上の長さから実際の距離を求められる。<br>○緯度・経度・時差を理解する。<br>○図法によって、面積・距離・形の表現が異なることを理解する。<br>○人種と民族の違いを理解する。                | 15 |                                  |
| 7   | 世界の民族について言語・宗教 | ○世界三大宗教について、主な特色と分布地域について理解する。                                                                                                | 7  |                                  |
| 8   | の面からとらえる。      | ○欠点者補習                                                                                                                        |    |                                  |
| 9   | 世界の気候と人々の生活    | ○日本の白地図を見て、都道府県名・県庁所在地・主な地形の名称を書けるようにする。<br>○気温・降水量・風などの気候要素を理解する。<br>○気候帯・気候区と植生との関係を理解する。<br>○日本の四季の気候に影響を与える4つの気団について理解する。 | 7  | 中間<br>考<br>査                     |
| 10  | 東南アジアの暮らしを学    | ○地図を見て、国名・主な地形名を答えられる。                                                                                                        | 15 |                                  |
| 11  | ぶ              | ○夏・冬のモンスーンの風向きと降雨の関係を理解する。<br>○気候帯・気候区と植生との関係を理解する。<br>○日本の四季の気候に影響を与える4つの気団について理解する。                                         |    |                                  |
| 12  | 南アジアの暮らしを学ぶ    | ○地図を見て、国名・主な地形名を答えられる。<br>○小麦地域や米作地域の食生活について知る。<br>○欠点者補習                                                                     | 7  | 期末<br>考<br>査<br>補<br>習<br>課<br>題 |
| 1   | 日常の生活圏         | ○地域の地図を見て、生活圏の地理的・社会的環境を読み解き、実生活に活用できるようにする。                                                                                  | 12 | 学年<br>末<br>考<br>査                |
| 2   | 食糧問題           | ○世界の食糧問題を確し、日本の食料自給率について考える。<br>○新エネルギーの利点について理解し、普及の条件について考える。                                                               |    |                                  |
| 3   | エネルギー問題        | ○欠点者補習                                                                                                                        |    |                                  |

## 3 評価規準と評価方法

| 項 目               | 内 容                                                                                      | 評価方法                                                                                      |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度          | 地理的事象に対して、関心をもち意欲的に探求しようとしているか。地図帳などの副教材を積極的に活用しているか。                                    | 授業へ取り組む姿勢。<br>ノート・プリントなど課題の提出状況。<br>定期考査(1学期2回・2学期2回・学年末1回)<br>授業中の発問に対する応答。<br>総合的に評価する。 |
| 思 考<br>判 断<br>表 現 | 世界的な視野で物事をとらえているか。世界の諸課題について自ら考え、解決の糸口を探ろうとする姿勢が見られるか。統計資料を読み取り、自分の考えを交えて、適切にまとめて表現できるか。 |                                                                                           |
| 技 能               | 資料に基づいてグラフなどを作成することができるか。                                                                |                                                                                           |
| 知 識<br>理 解        | 国名・地形・気候・人々の生活・農業・民族・宗教などの基本的事項について知識を有しているか。                                            |                                                                                           |

|        |              |     |      |            |      |
|--------|--------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 世界史A         | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 2 年生 |
| 使用教科書  | 新版 世界史A 実教出版 |     |      | 授業形態       | 必修   |
| 副教材    | なし           |     |      |            |      |

## 1 科目目標

原始から近代までの世界史を、各地域の概略史を踏まえながら通史で学習する。現代社会の根幹を成す政治・経済・文化の発達を系統的に理解させる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目                          | 学習活動(指導内容)                                                                                               | 時間  | 評価方法                           |      |
|----|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------|------|
| 4  | 歴史学習の基本<br>序章 人類の誕生<br>と文明の発生 | 歴史とは何か。歴史を学ぶ意義。暦法を学習する。<br>人類の誕生・狩猟採集から農耕牧畜への発展・文明の起源を学ぶ。                                                | 1 0 | 課題プリントを定期的に配布し平常点として評価する。〈通年↓〉 |      |
| 5  | 第1章 ユーラシアの諸文明と交流              | 四大文明の発祥と諸地域の古代史から中世史までの概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつつ簡潔に学習する。                                                    | 1 0 |                                |      |
| 6  |                               | 東アジア(殷・周・秦・漢・隋・唐・宋・元)<br>南アジア(古典王朝からイスラムの侵入まで)<br>西アジア(オリエント文明からイスラム世界の成立まで)<br>ヨーロッパ(地中海文明からローマ帝国の盛衰まで) |     |                                | 1 0  |
| 7  |                               | ヨーロッパ(地中海文明からローマ帝国の盛衰まで)                                                                                 | 8   |                                | 期末考査 |
| 9  | 第2章 一体化に向かう世界と日本              | 近代社会成立の概略を、欧州史を軸に学習する。                                                                                   | 1 0 |                                | 中間考査 |
| 10 |                               | ヨーロッパ(ルネサンス・宗教改革・大航海時代)<br>西アジア・北アフリカ(イスラム世界の発展・成熟)<br>東アジア(明・清)                                         | 1 0 |                                |      |
| 11 | 第3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動      | ヨーロッパ(絶対王政の成立)<br>近代市民社会の成立(市民革命・産業革命・ナショナリズム)                                                           | 1 0 |                                |      |
| 12 |                               | 欧米諸国の海外進出(帝国主義・アジアの変動)                                                                                   | 1 0 | 期末考査                           |      |
| 1  | 第4章 現代世界のあゆみ                  | 国際社会成立の背景・過程を学習する。                                                                                       | 1 0 | 学年末考査                          |      |
| 2  |                               | 第一次世界大戦とヴェルサイユ体制<br>アジアの民族運動の高まり<br>世界恐慌とファシズムの台頭<br>第二次大戦と世界の変容                                         |     |                                |      |
| 3  | 第5章 第二次大戦後の世界                 | 戦後から現在に至る国際社会の変化を学習する。<br>国際連合の成立と東西冷戦<br>冷戦の終結と多極化する世界<br>現代社会の諸問題                                      |     |                                | 8    |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                               | 評価方法                             |
|----------|--------------------------------------------------|----------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか。                     | 授業へ取り組む姿勢。<br>ノートやプリント等の課題の提出状況。 |
| 思考判断表現   | 知識を基に、人類の課題を多角的に考察しようとしているか。                     | 定期考査(1学期2回、2学期2回、学年末1回)          |
| 技能       | 資料を収集し、情報を選択して、歴史的な事柄を追究する方法を身に付け、その過程や結果を表現できるか | 授業中の発問に対する応答。                    |
| 知識理解     | 近現代史について、我が国と関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。           | 総合的に評価する。                        |

|        |                 |     |      |            |      |
|--------|-----------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 公民(現代社会)        | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 3 年生 |
| 使用教科書  | 『新版 現代社会』(実教出版) |     |      | 授業形態       | 必修   |
| 副教材    | なし              |     |      |            |      |

## 1 科目目標

現代社会の諸問題について、政治・経済・社会などのさまざまな観点から追求し、時事的な事柄と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。

## 2 学習計画

| 月      | 学習項目                            | 学習活動(指導内容)                                                         | 時間  | 評価方法                               |
|--------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------|
| 4      | 『現代社会』を学ぶにあたって                  | 『現代社会』に授業の進め方、学習内容、評価方法などについて理解する。                                 | 1 0 | 確認レポート、課題、ノート提出を実施し平常点として評価する。(通年) |
| 5      | 1 現代の社会生活と青年                    | 現代の青年が成長し社会に参加するにあたっての心理的社会的課題について理解する。                            | 1 2 | 中間考査<br><br>期末考査                   |
| 6      | 2 現代の経済社会と国民生活                  | 資本主義経済における企業に役割や市場の機能などについて理解する。                                   | 1 2 |                                    |
|        | 第1章 現代の経済社会<br>第2章 日本経済の特質と国民生活 | 市場機構・景気変動・金融・財政について学習する。<br>戦後から現在までの日本経済の流れを学習し、その抱える問題点について学習する。 | 1 2 |                                    |
| 7<br>8 |                                 | 日本経済のかかえる問題点について学習する。<br>欠点者補習・進学希望者補習                             | 8   | 補習課題                               |
| 9      | 3 現代の民主政治と日本                    | 民主政治の基本原則と、世界のおもな政治制度を学ぶ。                                          | 1 2 | 中間考査<br><br>期末考査                   |
| 10     | 国憲法                             |                                                                    | 1 2 |                                    |
| 11     | 第1章 現代国家と民主政治                   | 日本国憲法の成立と日本国憲法が規定する基本的人権を理解し、人権に関して憲法が直面する問題について学習する。              | 1 4 |                                    |
| 12     | 第2章 日本国憲法の基本原理                  | 平和主義の内容と意義を学習する。自衛隊・安全保障・国際貢献などについて学習する。                           | 1 2 |                                    |
|        |                                 | 欠点者補習                                                              |     | 補習課題                               |
| 1<br>2 | 第3章 日本の政治機構と政治参加                | 国会・内閣・裁判所について組織・機能・国民生活との関わりを学習する。                                 | 1 3 | 学年末考査                              |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                            | 評価方法                          |
|----------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 現代社会の諸事情に関心を持っての授業への集中した取り組み状況と、課題等の提出状況。                     | 授業態度、発問への応答                   |
| 思考判断     | 学習した事項をもとに、現代社会の諸事情を分析し、理解することができるか。                          | 確認レポート<br>課題の提出<br>定期考査(年5回)等 |
| 技能表現     | 統計などの資料から、現代社会における諸問題を分析することができるか。新聞等のメディアから必要な情報を聞取ることができるか。 | 上記を総合して100点満点で評価する            |
| 知識理解     | 授業の内容を、きちんと身につけているか。現代社会の諸問題や諸事情を理解しているか。                     |                               |



|        |               |     |      |            |      |
|--------|---------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 数学 I          | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 1 年生 |
| 使用教科書  | 高校数学 I (実教出版) |     |      | 授業形態       | 必修   |
| 副教材    | 授業中にプリントを配布   |     |      |            |      |

## 1 科目目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学よさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目                                        | 学習活動 (指導内容)                                                              | 時間  | 評価方法             |
|----|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----|------------------|
| 4  | 第1章 数と式<br>第1節 数と式                          | ・整式の基本法則を理解する。<br>・加法・減法・乗法を学習する                                         | 15h | 授業中の小テスト         |
| 5  | 第2節 実数                                      | ・整式の展開や因数分解を計算できるようにする。                                                  |     | 中間考査             |
| 6  | 第3節<br>方程式と不等式                              | ・平方根を含む式の計算について学習する。                                                     |     |                  |
| 7  | 第2章 2次関数<br>第1節 関数とグラフ                      | ・方程式・不等式の性質を理解し、1次方程式・1次不等式を解く。<br>関数とグラフの関係やグラフの意味を学習し、2次関数の用語や特徴を理解する。 | 20h | 授業中の小テスト<br>期末考査 |
| 9  | 第2章 2次関数<br>第2節 2次関数の値変化                    | ・2次関数のグラフの書き方を学ぶ。<br>・関数のグラフとx軸との関係を考えることにより、方程式や不等式の意味を理解する。            | 20h | 授業中の小テスト<br>中間考査 |
| 11 | 第3章 三角比<br>第1節 三角比                          | ・三角比の意味を学習する。                                                            | 25h | 授業中の小テスト         |
| 12 | 第2節 三角比の応用                                  | ・三角比の性質、三角比の相互関係について理解する。<br>・正弦定理や余弦定理を利用して図形の計量の処理に活用する。               |     | 期末考査             |
| 1  | 第4章 集合<br>第1節 集合                            | ・集合と要素の個数、各種集合について理解させる。                                                 | 25h | 授業中の小テスト         |
| 2  | 第2節 命題と論証                                   | ・必要条件、十分条件などの用語の意味を理解し、それが使えるようにする。<br>・対偶を利用した証明法、背理法などの間接証明法を学ぶ        |     |                  |
| 3  | 第5章データの分析<br>第1節データの整理<br>第2節データの分析<br>課題学習 | ・統計グラフ・度数分布表を復習する。<br>・平均値・中央値・最頻値について復習し、確認する                           |     | 学年末考査<br>課題の提出物  |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目                 | 内 容                                                                   | 評価方法                               |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲<br>・態度       | 意欲的に課題に取り組むとともに、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする態度を持っているか。                      | 中間考査・期末考査の成績                       |
| 数学的な<br>見方や考<br>え方 | 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けているか。 | 授業中の小テスト<br>提出物(授業ノート・プリント・課題等)の内容 |
| 数学的な<br>技 能        | 的確に問題を解決する技能を身に付けているか。                                                |                                    |
| 知 識<br>・理 解        | 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けているか。                             | 授業態度                               |

|        |              |     |      |            |      |
|--------|--------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 数学Ⅱ          | 単位数 | 4 単位 | 学年(学科・コース) | 2 年生 |
| 使用教科書  | 高校数学Ⅱ (実教出版) |     |      | 授業形態       | 選択   |
| 副教材    | 授業中にプリントを配布  |     |      |            |      |

## 1 科目目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の修得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目          | 学習活動 (指導内容)                                                                                                                                                     | 時間        | 評価方法     |                                    |
|----|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|------------------------------------|
| 4  | 第1章 複素数と方程式   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の割り算、分数式の計算ができるようにする。</li> <li>2次方程式の解と関連して複素数を導入し、その計算を通じて数として複素数を理解し、これを基礎に二次方程式の解法を完成する。</li> </ul>                | 20h       | 授業中の小テスト |                                    |
| 5  | 第1節 式の計算      |                                                                                                                                                                 |           | 中間考査     |                                    |
| 6  | 第2節 複素数と2次方程式 | <ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の解について、その解の判別、解と係数の関係を理解する</li> </ul>                                                                               | 20h       | 授業中の小テスト |                                    |
| 7  | 第3節 高次方程式     | <ul style="list-style-type: none"> <li>余りの定理、因数定理</li> <li>因数分解の公式や、因数定理を利用して高次方程式を解く。</li> </ul>                                                               |           | 期末考査     |                                    |
|    | 第4節 式と証明      | <ul style="list-style-type: none"> <li>等式、不等式の証明を通じ、式の解を発展的にとらえる。論証についての理解を深める。</li> </ul>                                                                      |           | 10h      |                                    |
| 8  | 第2章 図形と方程式    | <ul style="list-style-type: none"> <li>座標を用いることによって、図形の問題が代数的に解決されることを理解する。</li> </ul>                                                                          | 25h       | 授業中の小テスト |                                    |
| 9  | 第1節 点と座標      | <ul style="list-style-type: none"> <li>直線上・平面上の点の座標と内分点・外分点の座標を学ぶ</li> </ul>                                                                                    |           | 25h      | 中間考査                               |
| 10 | 第2節 直線の方程式    | <ul style="list-style-type: none"> <li>直線が、<math>x, y</math> の一次方程式で表され、2直線の位置関係をそれらの方程式の係数間の関係であることを学ぶ。</li> </ul>                                             |           |          |                                    |
| 11 | 第3節 円の方程式     | <ul style="list-style-type: none"> <li>円が <math>x, y</math> の2次方程式であらわされることを学ぶ。</li> </ul>                                                                      |           |          |                                    |
| 12 | 第4節 不等式の表す領域  | <ul style="list-style-type: none"> <li><math>x, y</math> に関与する不等式が座標平面上の広がりをもった部分(領域)を表すことを学ぶ。</li> </ul>                                                       | 5h        | 授業中の小テスト |                                    |
|    | 第3章 いろいろな関数   | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数・指数関数・対数関数について学ぶ。</li> </ul>                                                                                         | 25h       | 期末考査     |                                    |
|    | 第1節 三角関数      | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数を理解し、性質について学ぶ。</li> </ul>                                                                                            |           |          |                                    |
|    | 第2節 加法定理/弧度法  | <ul style="list-style-type: none"> <li>加法定理を学ぶ。弧度法を知る。</li> </ul>                                                                                               |           |          |                                    |
|    | 第3節 指数関数      | <ul style="list-style-type: none"> <li>指数関数の性質を調べ、その特徴を理解する</li> </ul>                                                                                          |           |          |                                    |
|    | 第4節 対数関数      | <ul style="list-style-type: none"> <li>対数を定義し指数法則との対応や諸性質の理解を深める。</li> </ul>                                                                                    | 5h        |          |                                    |
|    | まとめプリント       | 2学期の復習                                                                                                                                                          |           |          |                                    |
| 1  | 第4章 微分・積分法    | <ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数、及び関数の定義を学ぶ。</li> </ul>                                                                                              | 30h<br>5h | 授業中の小テスト |                                    |
| 2  | 第1節 微分係数と導関数  | <ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数がグラフ上の点における接線の傾きであることを理解する</li> </ul>                                                                                |           |          |                                    |
| 3  | 第2節 導関数の応用    | <ul style="list-style-type: none"> <li>接線の傾きからグラフの増減を知ることができることを理解する</li> <li>微分法の逆演算として不定積分が得られることを学び、その計算方法を理解する。</li> </ul>                                  |           |          |                                    |
|    | 第3節 積分の考え     | <ul style="list-style-type: none"> <li>定積分の定義を形式的に覚え、演算方法を習得する。</li> <li>定積分の基本的な性質を理解し、それに基づく計算法に慣れる。</li> <li>定積分と面積の関係を学び、平面図形の面積を求めることができるようにする。</li> </ul> |           |          | 期末考査<br>演習プリント<br>まとめプリント<br>確認テスト |

### 3 評価規準と評価方法

| 項目                 | 内容                                                                          | 評価方法                |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 関心・意欲<br>・態度       | 式の計算に関する問題に興味を持ち、積極的に解こうとする態度を持っているか。                                       | 1学期中間考査・期末考査の成績     |
| 数学的な<br>見方や考<br>え方 | 数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。思考の過程を振り返り多面的に発展的に考えているか。<br>推論の方法を身につけ、的確に解決できているか。 | 授業中の小テスト            |
| 数学的な<br>技 能        | 事象を数学的に考察して計算方法を導き、処理できているか。                                                | 提出物（授業ノート・プリント等）の内容 |
| 知 識<br>・理 解        | 基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知識を身につけているか。                                     | 授業態度                |

|        |              |     |      |            |      |
|--------|--------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 数学A          | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 2 年生 |
| 使用教科書  | 高校数学A (実教出版) |     |      | 授業形態       | 選択   |
| 副教材    | 授業中にプリントを配布  |     |      |            |      |

## 1 科目目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目         | 学習活動 (指導内容)                                                                                                                                                                                        | 時間    | 評価方法     |
|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------|
| 4  | 第1章 順列と組合せ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>集合とその要素の個数を指導する。</li> <li>共通部分や和集合、全体集合や補集合、部分集合を指導する</li> <li>いろいろな場合の数をかぞえるとき、もれなく、重複することなく、効率的にかぞえる方法をくふうする。</li> <li>組合せの意味を理解させ計算ができるようにする。</li> </ul> | 35h   | 授業中の小テスト |
| 5  | 1節 集合        |                                                                                                                                                                                                    |       | 中間考査     |
| 6  | 2節 順列        |                                                                                                                                                                                                    |       | 授業中の小テスト |
| 7  | 3節 組合せ       | 期末考査                                                                                                                                                                                               |       |          |
| 9  | 第2章 確率       | <ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに基づく確率の意味を定め、その基本性質を理解する。</li> <li>排反事象について理解し余事象の確率を求める。</li> <li>試行の独立、反復試行を理解する。</li> <li>期待値の概念を理解し具体的な例について求める。</li> </ul>                   | 45h   | 授業中の小テスト |
| 10 | 1節 確率とその基本性質 |                                                                                                                                                                                                    |       | 中間考査     |
| 11 | 第4章 平面図形     |                                                                                                                                                                                                    |       | 授業中の小テスト |
| 12 | 2節 三角形の性質    | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の辺と角の関係や平行線と線分の比の関係を理解する。</li> <li>三角形の外心、内心、重心の定義と性質を理解する。</li> </ul>                                                                                   | 期末考査  |          |
| 1  | 3節 円の性質      | <ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理や接線と弦に関する諸定理を学ぶ。</li> <li>2つの円の位置関係と、2つの円の中心間の距離と半径の関係を調べる</li> </ul>                                                                                 | 25h   | 授業中の小テスト |
| 2  |              |                                                                                                                                                                                                    |       |          |
| 3  | 4節 空間図形      | <ul style="list-style-type: none"> <li>平面の決定条件や、空間における直線や平面の位置関係を理解する。</li> <li>多面体や正多面体を理解する。</li> </ul>                                                                                          | 学年末考査 |          |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目         | 内容                                                                               | 評価方法                |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 関心・意欲・態度   | 場合の数と確率、論理と集合、平面図形に関心をもっているか。身近な事象に活用しようとする態度を持っているか。                            | 中間考査・期末考査の成績        |
| 数学的な見方や考え方 | 数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。思考の過程を振り返り多面的に発展的に考えているか。事象を数学的に考察して計算方法やグラフを表現し処理できているか。 | 授業中の小テスト            |
| 数学的な技能     | 推論の方法を身につけ、的確に解決できているか                                                           | 提出物(授業ノート・プリント等)の内容 |
| 知識・理解      | 基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知識を身につけているか。                                          | 授業態度                |

|        |              |     |      |            |      |
|--------|--------------|-----|------|------------|------|
| 教科(科目) | 数学A          | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 3 年生 |
| 使用教科書  | 高校数学A (実教出版) |     |      | 授業形態       | 選修   |
| 副教材    | 授業中にプリントを配布  |     |      |            |      |

## 1 科目目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目         | 学習活動 (指導内容)                                                                                                                                                                                        | 時間    | 評価方法     |
|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------|
| 4  | 第1章 順列と組合せ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>集合とその要素の個数を指導する。</li> <li>共通部分や和集合、全体集合や補集合、部分集合を指導する</li> <li>いろいろな場合の数をかぞえるとき、もれなく、重複することなく、効率的にかぞえる方法をくふうする。</li> <li>組合せの意味を理解させ計算ができるようにする。</li> </ul> | 35h   | 授業中の小テスト |
| 5  | 1節 集合        |                                                                                                                                                                                                    |       | 中間考査     |
| 6  | 2節 順列        |                                                                                                                                                                                                    |       | 授業中の小テスト |
| 7  | 3節 組合せ       | 期末考査                                                                                                                                                                                               |       |          |
| 9  | 第2章 確率       | <ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに基づく確率の意味を定め、その基本性質を理解する。</li> <li>排反事象について理解し余事象の確率を求める。</li> <li>試行の独立、反復試行を理解する。</li> <li>期待値の概念を理解し具体的な例について求める。</li> </ul>                   | 45h   | 授業中の小テスト |
| 10 | 1節 確率とその基本性質 |                                                                                                                                                                                                    |       | 中間考査     |
| 11 | 第4章 平面図形     |                                                                                                                                                                                                    |       | 授業中の小テスト |
| 12 | 2節 三角形の性質    | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の辺と角の関係や平行線と線分の比の関係を理解する。</li> <li>三角形の外心、内心、重心の定義と性質を理解する。</li> </ul>                                                                                   | 期末考査  |          |
| 1  | 3節 円の性質      | <ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理や接線と弦に関する諸定理を学ぶ。</li> <li>2つの円の位置関係と、2つの円の中心間の距離と半径の関係を調べる</li> </ul>                                                                                 | 25h   | 授業中の小テスト |
| 2  |              |                                                                                                                                                                                                    |       |          |
| 3  | 4節 空間図形      | <ul style="list-style-type: none"> <li>平面の決定条件や、空間における直線や平面の位置関係を理解する。</li> <li>多面体や正多面体を理解する。</li> </ul>                                                                                          | 学年末考査 |          |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目         | 内容                                                                               | 評価方法                |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 関心・意欲・態度   | 場合の数と確率、論理と集合、平面図形に関心をもっているか。身近な事象に活用しようとする態度を持っているか。                            | 中間考査・期末考査の成績        |
| 数学的な見方や考え方 | 数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。思考の過程を振り返り多面的に発展的に考えているか。事象を数学的に考察して計算方法やグラフを表現し処理できているか。 | 授業中の小テスト            |
| 数学的な技能     | 推論の方法を身につけ、的確に解決できているか                                                           | 提出物(授業ノート・プリント等)の内容 |
| 知識・理解      | 基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知識を身につけているか。                                          | 授業態度                |

|        |                        |     |      |            |          |
|--------|------------------------|-----|------|------------|----------|
| 教科(科目) | 理科(科学と人間生活)            | 単位数 | 2 単位 | 学年(学科・コース) | 1 年生・農業科 |
| 使用教科書  | 高等学校 科学と人間生活 (第一学習社)   |     |      | 授業形態       | 必修       |
| 副教材    | ネオパルノート科学と人間生活 (第一学習社) |     |      |            |          |

### 1 科目目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

### 2 学習計画

| 月  | 学習項目              | 学習活動(指導内容)                                                                                                                                                      | 時間 | 評価方法           |
|----|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 4  | 科学技術の発展           | 科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。                                                                                               | 7  | 中間考査           |
| 5  | 人間生活の中の科学<br>衣料   | 繊維の種類、基本的な性質、糸の製造工程、繊維の構造、染色加工、植物繊維と動物繊維と合成繊維の化学構造、性質、用途について理解する                                                                                                | 8  |                |
| 6  | 食品                | 食物中の栄養素と生体内での役割、栄養素が取り込まれる過程、炭水化物の分類と化学構造や性質と働き、タンパク質の化学構造や性質と働き、脂質の化学構造や働き、無機塩類やビタミンの性質について理解する                                                                | 8  |                |
| 7  | 熱の科学<br>熱         | セルシウス温度や絶対温度、熱運動、熱平衡、熱容量と比熱について理解する                                                                                                                             | 4  |                |
| 9  | エネルギー             | 熱伝導のしくみ、水の状態変化と潜熱の概念、仕事とエネルギーとの関係、ジュール熱と電力の関係、さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則、可逆変化と不可逆変化、省エネルギーの試み、代替エネルギーの開発について知識を習得する。                                              | 8  | 中間考査           |
| 10 | 生命の科学<br>微生物とその応用 | 微生物と人間生活とのかかわり、自然界にみられる微生物、微生物の発見の歴史、病原菌の発見、ウイルスの発見の研究、森林内や河川での微生物の分解作用、人間生活における微生物の分解作用の利用について理解する。                                                            | 7  |                |
| 11 |                   | 身近にみられる発酵食品、これからの発酵技術と人間生活とのかかわり、微生物によってつくられた医薬品による人間生活への貢献、これからの微生物の有効活用と人間生活のあり方について理解する。                                                                     | 8  |                |
| 12 |                   | 身近にみられる発酵食品、これからの発酵技術と人間生活とのかかわり、微生物によってつくられた医薬品による人間生活への貢献、これからの微生物の有効活用と人間生活のあり方について理解する。                                                                     | 5  |                |
| 1  | 地球の科学             | 日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動き、火山の噴火による噴出物、火山の噴火が起こる原因、火山の形とマグマの関連性、日本の火山活動、地震の発生のしくみ、日本列島の地震活動とプレートとの関連性、河川や海水の働きにより形成された地形、火山の災害と防災、地震災害と防災、気象災害と防災について科学的に理解する。 | 6  | 学年末考査<br>ノート提出 |
| 2  |                   |                                                                                                                                                                 | 6  |                |
| 3  |                   |                                                                                                                                                                 | 3  |                |

### 3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                        | 評価方法                         |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 関心・意欲・態度       | 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。                            | ・学習活動への参加の仕方や態度<br>・配布物の活用状況 |
| 思考<br>判断<br>表現 | 身近な事物・現象の中に問題を見出し、これからの科学と人間生活とのかかわり方について科学的・論知的に思考し、判断する。<br>観察の過程や結果から導いた自らの考えを的確に表現する。 | ・提出物の内容及び提出状況<br>・定期考査       |
| 技能             | 身近な事物・現象に関する観察の技能を習得するとともに科学的に探究する方法を身に付ける。                                               | 上記を総合して100点満点で評価する           |
| 知識<br>理解       | 現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。                                  |                              |

|        |                |     |      |            |         |
|--------|----------------|-----|------|------------|---------|
| 教科(科目) | 理科(生物基礎)       | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 2年生・全学科 |
| 使用教科書  | 新編 生物基礎 (東京書籍) |     |      | 授業形態       | 必修      |
| 副教材    | なし             |     |      |            |         |

1 科目目標

|                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>さまざまな事例を通じ、生物に対する関心を持つようになる。<br/>                 観察や実験を通して、基本的な内容を理解し、科学的思考を身につける。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|

2 学習計画

| 月  | 学習項目                                        | 学習活動(指導内容)                                                                                                                                                                   | 時間           | 評価方法           |
|----|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|
| 4  | 1編 生物の特徴<br>1章 生物の多様性と共通性                   | ・顕微鏡の使用方法<br>・生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学ぶ。<br>・多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物もいることを知る。                                                                                          | 5<br>5       | 中間考査           |
| 5  | 2章 生命活動とエネルギー                               | ・エネルギーと代謝の関係性とATPについて学ぶ。                                                                                                                                                     | 15           |                |
| 6  | 2編 遺伝子とそのはたらき                               | ・酵素の基質特異性や最適温度・最適pHについて学ぶ。<br>・遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。                                                                                                                          | 7<br>5<br>10 | 期末考査<br>ノート提出  |
| 7  | 1章 生物と遺伝子<br>2章 遺伝情報の分配<br>3章 遺伝情報とタンパク質の合成 | ・歴史的な研究成果を追いながら、だれのどのような研究により、遺伝子の本体やDNAの構造が解明されたか、それぞれの経緯を理解する。<br>・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。<br>・遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。                                              |              |                |
| 9  | 3編 生物の体内環境の維持<br>1章 体内環境<br>2章 体内環境の調節      | ・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきを学ぶ。<br>・腎臓におけるろ過と再吸収のしくみにより、老廃物は濃縮して尿とし、必要な物質は血液中に残すはたらきを理解する。<br>・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。<br>・ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造上の違いについて学ぶ。 |              |                |
| 10 | 3章 免疫                                       | ・異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを学ぶ。<br>・血液を材料として、塩類濃度の変化が血液に与える影響を調べ、さらに血液凝固や血流の観察を行うことで、体内環境を保つ上で血液が重要な役割を果たしていることを理解する。                                                     | 17           | 期末考査<br>ノート提出  |
| 11 | 4編 生物の多様性と生態系<br>1章 植生の多様性と分布               | ・生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを学ぶ。<br>・湖沼から始まる湿性遷移の場合、どのような経緯で湖沼が陸地化し、乾性遷移に移行するのか、具体例をもとにして理解する。                                                                      | 6<br>6       | 学年末考査<br>ノート提出 |
| 12 | 2章 気候とバイオーム                                 | ・気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について学ぶ。                                                                                                                 | 12           |                |
|    | 3章 生態系とその保全                                 | ・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し、生態系の保全について学ぶ。<br>・人為的に移入された生物が生態系にどのような影響を与えるかを、文献や資料を用いて具体的に考察する。                                                                         |              |                |

3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                                                                | 評価方法                                                                                                    |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲<br>・態度   | ・自然や生物に関心を持ち、意欲的、積極的に授業に参加し取り組んでいるか<br>・観察・実験に自ら考え主体性を持って取り組んでいるか<br>・教師の発問に対して積極的に答えようとする意欲が見られるか                                | ・学習活動への参加の仕方や態度<br>・配布物の活用状況<br>・提出物の内容及び提出状況<br>・定期考査<br>・観察、実験の授業中における実験器具操作や方法<br>上記を総合して100点満点で評価する |
| 思考<br>判断<br>表現 | ・観察実験の方法結果に対し判断や考察を行っているか<br>・教師からの発問に対して、自らの考えで答えているか<br>・自然界の事象に関して、様々な観点から考察し、論理的に考えることができるか<br>・自然界の生物現象について科学的に探求する方法を身につけたか |                                                                                                         |
| 技能             | ・観察、実験の方法や実験器具の操作を、理解して正しく行えるか                                                                                                    |                                                                                                         |
| 知識<br>理解       | ・自然の事物現象における原理法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか<br>・観察、実験の目的や実験の原理などを理解しているか                                                                |                                                                                                         |

|        |               |     |      |            |          |
|--------|---------------|-----|------|------------|----------|
| 教科(科目) | 理科(化学基礎)      | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 3 年生・全学科 |
| 使用教科書  | 新編化学基礎 (東京書籍) |     |      | 授業形態       | 必修       |
| 副教材    |               |     |      |            |          |

## 1 科目目標

さまざまな事例を通じ、化学に対する関心を持つようになる。  
観察や実験を通して、基本的な内容を理解し、科学的思考を身につける。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目    | 学習活動(指導内容)                                                                                                                            | 時間  | 評価方法           |
|----|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------|
| 4  | 物質の探究   | ・物質が原子、分子、イオンなどから構成されることや、成分としての元素の概念を学ぶ。また、単体、化合物、混合物などの物質の分類と混合物の分離を学ぶ。実験も行う。                                                       | 1 2 | 中間考査<br>ノート提出  |
| 5  | 物質の構成粒子 | ・物質の三態や熱運動について学ぶ。<br>・電子配置を中心に原子の構造を学ぶ。                                                                                               | 1 6 |                |
| 6  | 物質と化学結合 | ・周期表に関して、周期律や元素の配列、族による元素の典型的な性質などを学ぶ<br>・イオンとイオン結合、イオン結晶について学ぶ<br>・金属と金属結合、金属の利用について学ぶ。<br>・分子と共有結合について、電子式と構造式などを学ぶ。また、水素結合についても学ぶ。 | 1 8 |                |
| 7  | 物質と化学結合 | ・イオンとイオン結合、イオン結晶について学ぶ<br>・金属と金属結合、金属の利用について学ぶ。<br>・分子と共有結合について、電子式と構造式などを学ぶ。また、水素結合についても学ぶ。                                          | 1 8 | 期末考査<br>ノート提出  |
| 9  | 物質と化学変化 | ・原子量、分子量、式量、アボガドロ定数、物質の概念を正しく理解する。また、化学変化が反応式で表されること、および各物質の物質の変化が反応式により表されることを理解する。                                                  | 2 3 | 中間考査<br>ノート提出  |
| 10 | 酸と塩基    | ・モル濃度、パーセント濃度の計算ができるようになる。<br>・酸および塩基の定義、性質およびその種類を学ぶ。<br>・酸と塩基の中和反応における化学量論的な取り扱いを理解する。                                              | 2 3 |                |
| 11 | 酸と塩基    | ・酸および塩基の定義、性質およびその種類を学ぶ。<br>・酸と塩基の中和反応における化学量論的な取り扱いを理解する。                                                                            | 2 3 | 期末考査<br>ノート提出  |
| 12 | 酸と塩基    | ・PHや滴定曲線を理解し、中和滴定の操作を修得する。                                                                                                            | 2 3 |                |
| 1  | 酸化還元    | ・酸化や還元の定義を、酸素や水素および電子の授受という観点から理解する。電池のしくみや電気分解が酸化還元反応であることを学ぶ。また、物質の変化と電気量の関係を理解する。                                                  | 1 3 | 学年末考査<br>ノート提出 |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                                                                  | 評価方法                                                                                                        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ・化学に関心を持ち、意欲的、積極的に授業に参加し取り組んでいるか<br>・観察・実験に自ら考え主体性を持って取り組んでいるか<br>・教師の発問に対して積極的に答えようとする意欲が見られるか                                     | ・学習活動への参加の仕方や態度<br>・配布物の活用状況<br>・提出物の内容及び提出状況<br>・定期考査<br>・観察、実験の授業中における実験器具操作や方法<br><br>上記を総合して100点満点で評価する |
| 思考判断     | ・観察実験の方法結果を理解し、判断や考察を行っているか<br>・教師からの発問に対して、自らの考えで答えているか<br>・化学的な事象に関して、様々な観点から考察し、論理的に考えることができるか<br>・身のまわりの事象について化学的に探求する方法を身につけたか |                                                                                                             |
| 技能表現     | ・観察、実験の方法や実験器具の操作を、理解して正しく行えるか                                                                                                      |                                                                                                             |
| 知識理解     | ・自然の事物現象における原理解法などの基本的な知識や考え方を理解しているか<br>・観察、実験の目的や実験の原理などを理解しているか                                                                  |                                                                                                             |



|        |        |     |      |            |      |    |
|--------|--------|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 保健     | 単位数 | 1 単位 | 学年(学科・コース) | 1 年  |    |
| 使用教科書  | 最新保健体育 |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |        |     |      |            |      |    |

### 1 科目目標

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学習指導要領に記載されている「保健の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>個人の生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できる意欲を育てる。</li> <li>健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決の役立つ基礎的な事項を理解するとともに知識を身につける。</li> <li>心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身につける。</li> </ol> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 2 学習計画

| 月  | 学習項目                                 | 学習活動(指導内容)                                                                                             | 時間          | 評価方法                                                                                     |
|----|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | I 現代社会と健康<br>・私たちの健康のすがた<br>・健康のとらえ方 | 我が国における健康水準の向上を平均寿命ののびや死亡率の低下から理解させる。我が国の健康問題の変化を、感染症の減少や生活習慣病の増加の観点から理解させる。                           | 2<br>1      | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の参加への意欲や行動の観察</li> <li>定期テストからの読みとり</li> </ul> |
| 5  | ・さまざまな保健活動や対策<br>・生活習慣病と日常の生活行動      | 健康についての様々な考え方を理解させる。<br>生活習慣と関連の深い病気について理解させる。                                                         | 1<br>1      |                                                                                          |
| 6  | ・喫煙と健康<br>・飲酒と健康                     | 喫煙の健康影響を喫煙者、非喫煙者の立場から理解させる。<br>アルコールの心身に対する影響を健康面から理解させる。                                              | 2<br>2      |                                                                                          |
| 7  | ・薬物乱用と健康<br>・医薬品と健康<br>・感染症とその予防     | 薬物乱用による健康被害と社会的問題について理解させる。<br>医薬品の役割を、使い方の面から理解させる。<br>今日注意すべき感染症を、感染症問題の変化や、感染症を取り巻く状況の変化の観点から理解させる。 | 1<br>1<br>1 |                                                                                          |
| 9  | ・エイズとその予防                            | エイズの課題や、流行の原因について理解させる。                                                                                | 3           |                                                                                          |
| 10 | ・健康に関わる意志決定・行動選択                     | 適切な意志決定と行動の選択を健康の立場から理解させる。                                                                            | 3           |                                                                                          |
| 11 | ・欲求と適応機制<br>・心身の相関とストレス              | 心と大脳の働きからさまざまな四級について理解させる。<br>心と体の関わり、体と心の関わりについて理解させる。                                                | 3<br>3      |                                                                                          |
| 12 | ・ストレスへの対処                            | 原因への対処をとらえ方を変えることによる対処の仕方から理解させる。                                                                      | 3           |                                                                                          |
| 1  | ・交通事故の現状と要因                          | 交通事故の要因を実際の事故状況から理解させる。                                                                                | 3           |                                                                                          |
| 2  | ・交通社会における運転者の資質と責任                   | 交通事故の責任と保証について具体的な例から理解させる。                                                                            | 3           |                                                                                          |
| 3  | ・応急手当の意義とその方法                        | 応急手当の意義について理解させる。応急手当の手順について、その段階的な方法を具体的に理解させる。                                                       | 2           |                                                                                          |

### 3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                                              | 評価方法                                                                         |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲<br>・態度   | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進に必要な事柄に関心を持っているか。</li> <li>仲間と協力して資料を集めたり、意見交換をしているか。</li> </ul>  | <b>授業態度・実習態度等<br/>プリント提出<br/>ノート提出<br/>定期考査等<br/>上記を総合して100点満点<br/>で評価する</b> |
| 思考<br>判断<br>表現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や考えを聞いたりして、課題解決の方法を考え判断しているか。</li> </ul> |                                                                              |
| 技能             | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な生活行動を日常生活において選択し、実践すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解しているか。</li> </ul>      |                                                                              |
| 知識<br>理解       | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか。</li> </ul>                     |                                                                              |

|        |        |     |      |            |      |    |
|--------|--------|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 保健     | 単位数 | 1 単位 | 学年(学科・コース) | 2年   |    |
| 使用教科書  | 最新保健体育 |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |        |     |      |            |      |    |

## 1 科目目標

学習指導要領に記載されている「保健の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

1. 個人の生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できる意欲を育てる。
2. 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決の役立つ基礎的な事項を理解するとともに知識を身につける。
3. 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身につける。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目             | 学習活動（指導内容）                                        | 時間 | 評価方法               |
|----|------------------|---------------------------------------------------|----|--------------------|
| 4  | Ⅱ 生涯を通じる健康       |                                                   |    |                    |
|    | ・ 思春期と健康         | 思春期の身体の変化と健康について理解させる。                            | 3  | ・ 授業中の参加への意欲や行動の観察 |
| 5  | ・ 性意識と性行動の選択     | 性意識の男女差と性的欲求の差について理解させる。                          | 2  | ・ 定期テストからの読みとり     |
|    | ・ 結婚生活と健康        | 心身の発達と健康な結婚生活について理解させる。                           | 1  |                    |
| 6  | ・ 妊娠・出産と健康       | 受精・妊娠・出産を段階的に理解させる。                               | 2  |                    |
|    | ・ 家族計画と人工妊娠中絶    | 家族計画の意義や避妊法とその選択について理解させる。                        | 2  |                    |
| 7  | ・ 加齢と健康          | 加齢にともなう心身の変化について理解させる。                            | 1  |                    |
|    | ・ 保健制度と医療サービスの活用 | 保健行政の役割と仕組みについて理解させる。                             | 1  | ・ 授業中の参加への意欲や行動の観察 |
| 9  | ・ 医療制度と医療費       | 医療の供給と医療保険について理解させる。                              | 2  | ・ 定期テストからの読みとり     |
|    | Ⅲ 社会生活と健康        |                                                   |    |                    |
| 10 | ・ 大気汚染と健康        | 大気汚染とその原因について理解させる。                               | 2  |                    |
|    | ・ 水質汚濁と健康        | 水質汚濁とその原因について理解させる。                               | 2  |                    |
|    | ・ 土壌汚染と健康        | 土壌汚染とその原因を理解させる。                                  | 2  | ・ 授業中の参加への意欲や行動の観察 |
| 11 | ・ 健康被害の防止と環境対策   | 環境汚染の防止と改善について、どのような対策がとられているか理解させる。              | 2  | ・ 定期テストからの読みとり     |
|    | ・ 環境衛生活動の仕組みと働き  | ゴミ処理の活動について、その現状について理解させる。                        | 2  |                    |
| 12 | ・ 働くことと健康        | 働くことと健康の関わりを理解させる。                                | 3  |                    |
|    | ・ 労働災害・職業病と健康    | 労働災害とその防止について、具体的な例を挙げて理解させる。                     | 4  |                    |
|    | ・ 健康的な職業生活       | 職場における取り組みについて、心身両面から理解させる。日常生活で留意すべき事柄について理解させる。 | 4  |                    |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                              | 評価方法                                                             |
|----------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲<br>・ 態度  | ・ 健康の保持増進に必要な事柄に関心を持っているか。<br>・ 仲間と協力して資料を集めたり、意見交換をしているか。      | 授業態度・実習態度等<br>プリント提出<br>ノート提出<br>定期考査等<br>上記を総合して100点満点<br>で評価する |
| 思考<br>判断<br>表現 | ・ 自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や考えを聞いたりして、課題解決の方法を考え判断しているか。 |                                                                  |
| 技能             | ・ 適切な生活行動を日常生活において選択し、実践すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解しているか。      |                                                                  |
| 知識<br>理解       | ・ 個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか。                     |                                                                  |

|        |    |     |      |            |      |    |
|--------|----|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 体育 | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 1年男子 |    |
| 使用教科書  |    |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |    |     |      |            |      |    |

## 1 科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目               | 学習活動(指導内容)                                                       | 時間 | 評価方法                    |
|----|--------------------|------------------------------------------------------------------|----|-------------------------|
| 4  | 「体育」学習について         | 1年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。                | 1  | 具体の学習場面における学びの姿勢        |
| 5  | 集団行動               | 集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。                                      | 3  | 関心・意欲・態度                |
|    | 体づくり運動             | 各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高める運動を行う。                          | 7  | 公正・協力<br>責任             |
| 6  | 「走運動」を中心とした基礎体力の向上 | 持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上を図る。                             | 12 | スポーツテスト記録               |
|    | スポーツテスト            | スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテストを実施する。                         |    | 陸上記録                    |
| 7  | 陸上競技               | 基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技能を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させる。        | 17 | 具体的評価基準を設定              |
|    | 走運動・投運動のうちいずれか1種目  |                                                                  |    |                         |
|    | 体育理論               | 運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。                                              | 3  | ペーパーテスト                 |
| 9  | サッカー               | サッカーの基本的な技能(各種キック・トラッピング・ドリブル・ヘディング等)の技能を習得させる。                  | 18 | 学びの姿勢から評価<br>具体的評価基準を設定 |
| 11 | バレーボール             | バレーボールの基本的な技能(パス、サーブ、レシーブ、スパイク等)の技能を習得させる。                       | 18 |                         |
|    | 体育理論               | 運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。                                              | 3  |                         |
| 12 | 柔道                 | 柔道の伝統的な行動様式を理解させ、特に礼儀作法を尊重するとともに、基本的な動作である「受け身」や基本的な対人的技能を習得させる。 | 24 |                         |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                          | 評価方法                               |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲・態度       | 運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意して運動しようとしている。 | ・授業中の参加への意欲や行動の観察<br>・スポーツテストの結果分析 |
| 思考<br>判断<br>表現 | ・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。<br>・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。                              | ・スキルテストの実施<br>・具体的評価基準を設定          |
| 技能             | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。      |                                    |
| 知識<br>理解       | ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。                        |                                    |

|        |    |     |      |            |      |    |
|--------|----|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 体育 | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 1年女子 |    |
| 使用教科書  |    |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |    |     |      |            |      |    |

### 1 科目目標

|                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。</p> <p>1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。</p> <p>2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。</p> <p>3 基礎体力の向上に努める。</p> <p>4 基本的な運動技能の習得をはかる。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 2 学習計画

| 月  | 学習項目                          | 学習活動(指導内容)                                                                       | 時間 | 評価方法                    |
|----|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------|
| 4  | 「体育」学習について                    | 1年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。                                | 1  | 具体的学習場面における学びの姿勢        |
| 5  | 集団行動                          | 集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。                                                      | 3  | 関心・意欲・態度                |
|    | 体づくり運動                        | 各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高める運動を行う。                                          | 7  | 公正・協力<br>責任             |
| 6  | 「走運動」を中心とした基礎体力の向上<br>スポーツテスト | 持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上を図る。<br>スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテストを実施する。 | 12 | スポーツテスト記録<br>陸上記録       |
| 7  | 陸上競技<br>走運動・投運動のうち<br>いずれか1種目 | 基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技能を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を体験させる。                        | 17 | 具体的評価基準を設定              |
|    | 体育理論                          | 運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。                                                              | 3  | ペーパーテスト                 |
| 9  | テニス                           | フォアハンドストローク、バックハンドストローク、サービスなどの基礎的スキルを習得させる。                                     | 18 | 学びの姿勢から評価<br>具体的評価基準を設定 |
| 10 | バスケットボール                      | バスケットボールの基本的な技能(パス・キャッチ・ドリブル・シュート等)のスキルを習得させる。                                   | 18 |                         |
| 12 | バレーボール                        | バレーボールの基本的な技能(サービス・パス・レシーブ・トス・スパイク等)のスキルを習得させる。                                  | 12 |                         |
|    | 体育理論                          | 運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる                                                               | 3  | ペーパーテスト                 |
| 2  | バドミントン                        | バドミントンの基本的な技能である各種のフライト・サービス・レシーブ等のスキルを習得させる。                                    | 12 | 学びの姿勢から評価<br>具体的評価基準を設定 |

### 3 評価基準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                          | 評価方法                               |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲・態度       | 運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意して運動しようとしている。 | ・授業中の参加への意欲や行動の観察<br>・スポーツテストの結果分析 |
| 思考<br>判断<br>表現 | ・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。<br>・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。                              | ・スキルテストの実施<br>・具体的評価基準を設定          |
| 技能             | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、そのスキルを高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。     |                                    |
| 知識<br>理解       | ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。                        |                                    |

|        |    |     |      |            |      |    |
|--------|----|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 体育 | 単位数 | 2 単位 | 学年(学科・コース) | 2年男子 |    |
| 使用教科書  |    |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |    |     |      |            |      |    |

## 1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

## 2学習計画

| 月  | 学習項目               | 学習活動(指導内容)                                                             | 時間 | 評価方法                    |
|----|--------------------|------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------|
| 4  | 「体育」学習について         | 2年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。                      | 1  | 具体的学習場面における学びの姿勢        |
| 5  | 集団行動               | 集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。                                            |    | 関心・意欲・態度                |
| 5  | 体づくり運動             | 各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高める運動を行う。                                | 6  | 公正・協力                   |
| 6  | 「走運動」を中心とした基礎体力の向上 | 持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上を図る。                                   | 8  | 責任                      |
| 6  | スポーツテスト            | スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテストを実施する。                               |    | スポーツテスト記録               |
| 7  | 陸上競技               | 基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技能を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させる。              | 10 | 陸上記録                    |
| 7  | 走運動・投運動のうちいずれか1種目  |                                                                        |    |                         |
| 9  | 体育理論               | 運動、スポーツの学び方について理解させる。                                                  | 3  | ペーパーテスト                 |
| 9  | バスケットボール           | 集団的スキル(速攻・セットオフense・マンツーマンディフェンス・ゾーンディフェンス等)のスキルを習得する。                 | 21 | 具体的評価基準を設定<br>学びの姿勢から評価 |
| 11 | 体育理論               | 運動、スポーツの学び方について理解させる。                                                  | 3  | ペーパーテスト                 |
| 12 | 柔道                 | 投げ技・固め技・技の連絡変化について自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに適した攻防ができるようにし、試合に生かすことができるようにする。 | 18 | 具体的評価基準を設定<br>学びの姿勢から評価 |

## 3評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                           | 評価方法                               |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ・運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意して運動しようとしている。 | ・授業中の参加への意欲や行動の観察<br>・スポーツテストの結果分析 |
| 思考判断表現   | ・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。<br>・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。                               | ・スキルテストの実施<br>・具体的評価基準を設定          |
| 技能       | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。       |                                    |
| 知識理解     | ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。                         |                                    |

|        |    |     |      |            |      |    |
|--------|----|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 体育 | 単位数 | 2 単位 | 学年(学科・コース) | 2年女子 |    |
| 使用教科書  |    |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |    |     |      |            |      |    |

## 1 科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目                          | 学習活動(指導内容)                                                                         | 時間      | 評価方法                               |
|----|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------|
| 4  | 「体育」学習について<br>集団行動            | 2年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。<br>集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。   | 1       | 具体的学習場面における学びの姿勢<br>関心・意欲・態度       |
| 5  | 体づくり運動                        | 各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高める運動を行う。                                            | 6       | 公正・協力<br>責任                        |
| 6  | 「走運動」を中心とした基礎体力の向上<br>スポーツテスト | 持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上を図る。<br>スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテストを実施する。   | 8       | スポーツテスト記録                          |
| 7  | 陸上競技<br>跳運動                   | 基本的な運動動作である「跳躍運動」についての合理的な技能を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を体験させる。                          | 10      | 陸上記録                               |
| 9  | 体育理論<br>バレーボール                | 運動、スポーツの学び方について理解させる。<br>ゲームのルールについての理解を深めるとともに、2段攻撃や3段攻撃などの攻撃的な技能や、防御面での技能を習得させる。 | 3<br>21 | ペーパーテスト<br>具体的評価基準を設定<br>学びの姿勢から評価 |
| 11 | 体育理論                          | 運動、スポーツの学び方について理解させる。                                                              | 3       | ペーパーテスト                            |
| 12 | バスケットボール                      | ゲームのルールについての理解を深めるとともに、攻撃面では速攻・セットオフense、防御面ではマンツーマンディフェンス・ゾーンディフェンスの技能を習得させる。     | 18      |                                    |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                                          | 評価方法                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意して運動しようとしている。 | ・授業中の参加への意欲や行動の観察<br>・スポーツテストの結果分析 |
| 思考判断表現   | ・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。<br>・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。                              | ・スキルテストの実施<br>・具体的評価基準を設定          |
| 技能       | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。      |                                    |
| 知識理解     | ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。                        |                                    |

|        |    |     |      |            |      |    |
|--------|----|-----|------|------------|------|----|
| 教科(科目) | 体育 | 単位数 | 3 単位 | 学年(学科・コース) | 3年   |    |
| 使用教科書  |    |     |      |            | 授業形態 | 必修 |
| 副教材    |    |     |      |            |      |    |

### 1 科目目標

|                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。</li> <li>2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。</li> <li>3 基礎体力の向上に努める。</li> <li>4 基本的な運動技能の習得をはかる。</li> </ol> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 2 学習計画

| 月   | 学習項目                                 | 学習活動(指導内容)                                                                       | 時間           | 評価方法                                  |
|-----|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------|
| 4   | 「体育」学習について<br>集団行動                   | 3年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。<br>集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。 | 1<br>2       | 具体的学習場面における学びの姿勢<br>関心・意欲・態度<br>公正・協力 |
| 5   | 体づくり運動                               | 各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高める運動を行う。                                          | 7            | 責任                                    |
| 6   | 「走運動」を中心とした基礎体力の向上<br>スポーツテスト        | 持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上を図る。<br>スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテストを実施する。 | 1 2<br>1 8   | スポーツテスト記録<br>陸上記録                     |
| 7   | 体育理論                                 | 豊かなスポーツライフの設計について考えさせる。                                                          | 3            | ペーパーテスト                               |
| 9   | 選択体育Ⅰ期<br>バレー、バスケ、<br>バド、トレーニングより1種目 | 4つの種目より各自で1種目を選択。チーム分けや練習内容などに至るまで、自分たちで計画し、協力し、安全に留意しながら意欲的・自主的に活動できるようにする。     | 2 7          | 学びの姿勢から評価                             |
| 1 1 | 選択体育Ⅱ期<br><br>体育理論                   | Ⅰ期と同様だが、各自がⅠ期と違う種目を必ず選択し、活動する。<br><br>豊かなスポーツライフの設計について考えさせる。                    | 2 7<br><br>3 | <br><br>ペーパーテスト                       |

### 3 評価規準と評価方法

| 項目             | 内容                                                                                                   | 評価方法                               |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 関心・意欲・<br>態度   | ・運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しようとしている。<br>・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。<br>・健康、安全に留意して運動しようとしている。 | ・授業中の参加への意欲や行動の観察<br>・スポーツテストの結果分析 |
| 思考<br>判断<br>表現 | ・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。<br>・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。                                       | ・スキルテストの実施<br>・具体的評価基準を設定          |
| 技能             | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を高めているか。<br>・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。           |                                    |
| 知識<br>理解       | ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。                                 |                                    |

|        |                 |     |      |            |          |
|--------|-----------------|-----|------|------------|----------|
| 教科(科目) | 芸術(音楽)          | 単位数 | 2 単位 | 学年(学科・コース) | 1 学年 農業科 |
| 使用教科書  | MOUSA 1 (教育芸術社) |     |      | 授業形態       | 必修       |
| 副教材    | なし              |     |      |            |          |

1 科目目標

音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。また与えられた知識・技能を活かした主体的な音楽活動を行うことによって、創造的な表現を目指す。 . . . . .

2 学習計画

| 月  | 学習項目          | 学習活動(指導内容)                         | 時間 | 評価方法            |
|----|---------------|------------------------------------|----|-----------------|
| 4  | 発声練習          | ・効率の良い発声を習得させる。                    | 3  | 校歌テスト           |
|    | 校歌を歌う         | ・農林高校の生徒としての自覚を促す。                 | 3  |                 |
| 5  | 歌唱            | ・親しみのある曲で、歌うことの楽しさを味わわせる。          | 3  | 選択曲歌唱テスト        |
|    | ・翼をください       |                                    | 3  |                 |
|    | ・ふるさと         |                                    | 3  |                 |
| 6  | リコーダー演奏       | ・正しいリコーダー奏法を習得させる。                 | 3  | リコーダー演奏テスト      |
|    | ・「オーラリー」      |                                    | 3  |                 |
| 7  | ・「ドナドナ」       |                                    | 3  |                 |
|    | ・「エデンの東」      | ・自ら選曲し、練習・発表することを通して、主体的な音楽活動をさせる。 | 3  | 「ラバースコンチェルト」    |
|    | ・「ラバースコンチェルト」 |                                    | 3  |                 |
| 9  | 歌唱            | ・叙情的な日本の風景をイメージさせる。                | 3  | 1曲選択歌唱テスト       |
|    | ・この道          |                                    | 3  |                 |
|    | ・カロミオベン       | ・イタリア歌曲でベルカント唱法を体験させる。             | 3  |                 |
| 10 | ウクレレ演奏        | ・グループ演奏の楽しさを体験させる。                 | 6  | 1曲選択実技発表        |
|    | ・イパネマの娘       |                                    | 5  |                 |
| 11 | ・雨にぬれても       |                                    | 5  |                 |
|    | 箏演奏           | ・コードの楽しさを体験させる。                    | 5  | 実技テスト           |
|    | ・さくら          |                                    | 5  |                 |
| 12 | ・春の海          | ・和楽器に親しませる。                        | 6  |                 |
| 1  | ウクレレ仕上げ       | ・沖縄の三線音楽を体験させる。                    | 8  | 実技テスト           |
|    | ・涙そうそう        |                                    | 5  |                 |
|    | ・映画「禁じられた遊び」  | ・映画を観てその印象を表現させる。                  | 5  | 実技テスト<br>レポート提出 |
| 2  |               | ・日本音楽の歴史についてレポートを作成させる。            | 2  |                 |
| 3  |               |                                    |    |                 |

3 評価規準と評価方法

| 項目       | 内容                                                | 評価方法                        |
|----------|---------------------------------------------------|-----------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 音楽を愛好し、興味関心を持ち意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとしたか。      | 授業態度、テスト、出席を総合して100点満点で評価する |
| 思考・判断・表現 | その時々活動に適した判断をし、行動に移せたか。                           |                             |
| 技能       | 自己のイメージを持ち、感性を働かせて創造的な表現を模索し工夫しようと努めたか。 . . . . . |                             |
| 知識理解     | さまざまな音楽活動を通して身に付いた知識・技能を生かした音楽活動を行えたか。 . . . . .  |                             |



|        |                                             |     |     |            |          |
|--------|---------------------------------------------|-----|-----|------------|----------|
| 教科(科目) | 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)                           | 単位数 | 3単位 | 学年(学科・コース) | 1学年(農業科) |
| 使用教科書  | COMET English Communication I (数研出版)        |     |     | 授業形態       | 必修       |
| 副教材    | プレップイングリッシュ [改訂版] (旺文社), ビーコン英和辞典 第2版 (三省堂) |     |     |            |          |

## 1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。

## 2 学習計画

| 月              | 学習項目                                                                                                                 | 学習活動(指導内容)                                                                                                                                                                                                                   | 時間       | 評価方法                                    |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------|
| 4<br>5         | Introduction 1 ~ 3<br>L1 Why Do We Study English?<br>L2 Bento<br>プレップイングリッシュ<br>日本語と英語の違い①~③<br>5,6,9~12,15,16,17~20 | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を確認し、高校の学習への導入とする。</li> <li>英和辞典の引き方を習得させる。</li> <li>英語を学ぶ意味を考える。</li> <li>be動詞、一般動詞</li> <li>日本の弁当が世界で人気の理由を探る。</li> <li>現在時制を使って身の回りのことについて書く。</li> <li>動詞の現在時制、過去時制</li> </ul> | 18<br>時間 | 音読テスト<br>中間考査                           |
| 5<br>6<br>7    | L3 Could You Give me Some Advice?<br>L4 My School, Your School<br>プレップイングリッシュ<br>27,28,49,50,51                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオへの相談メールを通して、様々な表現を学ぶ。</li> <li>助動詞</li> <li>外国の学校について知る。</li> <li>自分の学校について簡単に書くことができる。</li> <li>不定詞</li> </ul>                                                                    | 20<br>時間 | インタビューテスト<br>(道案内)<br>期末考査              |
| 8<br>9<br>10   | L5 Peace, the Polar Bear<br>L6 Living as a Carpenter<br>プレップイングリッシュ<br>53,37~39                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>シロクマと飼育員の交流について知る。</li> <li>動名詞</li> <li>大工さんへのインタビューを通して、職業についての理解を深める。</li> <li>受け身</li> </ul>                                                                                      | 22<br>時間 | 夏休み課題<br>夏課題テスト<br><br>中間考査             |
| 10<br>11<br>12 | L7 Flying Wheelchairs<br>L8 Convenience Stores: the Keys to Their Success<br>プレップイングリッシュ<br>33,34,45,46              | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアグループにおける高校生の活動について学ぶ</li> <li>現在完了</li> <li>コンビニの成功事例についての高校生の研究発表を学ぶ。</li> <li>現在分詞、過去分詞</li> </ul>                                                                            | 20<br>時間 | インタビューテスト<br>(買い物)<br>期末考査              |
| 1<br>2<br>3    | L9 Tricks on Your Eyes<br>L10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles<br>プレップイングリッシュ<br>57-60                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>目の錯覚について考察する。</li> <li>比較表現</li> <li>カップラーメン発明の過程と当事者の苦勞を知る。</li> <li>関係代名詞、関係副詞</li> <li>比較級、最上級を使って身の回りのことについて書く。</li> <li>My motto について短いスピーチ発表をする。</li> </ul>                     | 25<br>時間 | 冬休み課題<br>冬課題テスト<br><br>スピーチテスト<br>学年末考査 |

## 3 評価規準と評価方法

| 観 点                     | 内 容                                                       | 評価方法                                                                                                                                      |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コミュニケーションへの<br>関心・意欲・態度 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。           | 左記の観点を踏まえ、<br>①授業への取り組み<br>(授業態度・発表の様子・学習活動への参加状況など)<br>②提出物の状況<br>③課題テスト・小テスト<br>④インタビューテスト<br>⑤音読テスト<br>⑥定期考査<br>上記①~⑥を総合して、100点満点で評価する |
| 外国語表現の能力                | 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。                          |                                                                                                                                           |
| 外国語理解の能力                | 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。                         |                                                                                                                                           |
| 言語や文化についての<br>知識・理解     | 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 |                                                                                                                                           |

|        |                                         |     |     |            |          |
|--------|-----------------------------------------|-----|-----|------------|----------|
| 教科(科目) | 外国語(コミュニケーション英語Ⅱ)                       | 単位数 | 3単位 | 学年(学科・コース) | 2学年(農業科) |
| 使用教科書  | COMET English Communication II (数研出版)   |     |     | 授業形態       | 必修       |
| 副教材    | プレップイングリッシュ[改訂版](旺文社)、ビーコン英和辞典 第2版(三省堂) |     |     |            |          |

## 1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

## 2 学習計画

| 月   | 学習項目                                                        | 学習活動(指導内容)                                                                                      | 時間       | 評価方法                            |
|-----|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------|
| 4   | 教科書L 10<br>Ando Momofuku                                    | ・カップラーメン発明の過程と当事者の苦勞を知る。<br>・関係代名詞、関係副詞の用法を学ぶ。                                                  | 18<br>時間 | 課題提出                            |
| 5   | L1 Many Languages,<br>Many Letters<br>プレップExercise1,2,3     | ・世界の多様な言語および文字について知る。<br>・動詞の目的語となる that 節の用法を学ぶ。<br>・文法の復習(名詞、代名詞、be 動詞、一般動詞など)                |          | 音読テスト<br>中間考査                   |
| 5   | L 2 Manga<br>Overseas                                       | ・海外で人気の日本のマンガについて読み、自分の意見を発信する。<br>・分詞構文の用法を学ぶ                                                  | 20<br>時間 | インタビューテスト<br>(ファストフード店<br>での注文) |
| 6   | L 3 Don't Be<br>Nervous!                                    | ・緊張する場面での対処法について読む。<br>・動詞seem の用法を学ぶ。                                                          |          | 期末考査                            |
| 7   | プレップExercise4,5,6                                           | ・文法の復習(命令文、疑問文、否定文、過去形、進行形など)                                                                   |          | 夏休み課題                           |
| 7-8 | L4 The High School<br>Student Restaurant                    | ・高校生の日記を読み、自分の日常について書く。<br>・形式主語 It の用法を学ぶ。                                                     | 22<br>時間 | 夏課題テスト<br>課題提出                  |
| 9   | L5 Why Is It That<br>Shape?                                 | ・物の形の理由について読む。<br>・関係代名詞 what の用法を学ぶ。                                                           |          |                                 |
| 10  | L6 Kinjo Koji and<br>the Coral Reef<br>プレップExercise7,8,9    | ・サンゴの養殖に成功した金城浩二さんについて読み、感想を書く。<br>・過去完了形の用法を学ぶ。<br>・文法の復習(助動詞、疑問詞、現在完了など)                      |          | 中間考査                            |
| 11  | L7 Changing<br>Language                                     | ・ことばが時代とともに変化していくことについて読む。<br>・関係代名詞の継続用法を学ぶ。                                                   | 20<br>時間 | 課題提出                            |
| 12  | L8 Do We Need<br>That?<br>プレップExercise<br>10,11,12          | ・日本独自のサービスについて読む。あわせて相手の意見に賛成、反対の<br>ための表現を学ぶ。<br>・無生物主語構文について学ぶ。<br>・文法の復習(受動態、関係代名詞、分詞、接続詞など) |          | 期末考査<br>冬休み課題                   |
| 1   | L9 Sleep                                                    | ・睡眠について読む。<br>・使役動詞の用法を学ぶ。                                                                      | 25<br>時間 | 冬課題テスト<br>課題提出                  |
| 2   | L10 Win for Our<br>Nation                                   | ・南アフリカのラグビーとアパルトヘイトについて読む。<br>・知覚動詞の用法を学ぶ。                                                      |          |                                 |
| 3   | L11 From Small<br>Factories<br>プレップ/Exercise<br>13,14,15,16 | ・町工場のすぐれた製品について読む。<br>・仮定法を学ぶ。<br>・文法の復習(不定詞、動名詞、比較級、最上級、原級など)<br>・学校行事についてスピーチをする。             |          | スピーチテスト<br>(学校行事について)<br>学年末考査  |

## 3 評価規準と評価方法

| 観 点                     | 内 容                                                           | 評価方法                                       |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| コミュニケーションへの<br>関心・意欲・態度 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション<br>を図ろうとしている。           | ①授業への取り組み<br>(授業態度・発表の様子・学習活<br>動への参加状況など) |
| 外国語表現の能力                | 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。                              | ②提出物の状況<br>③課題テスト・小テスト                     |
| 外国語理解の能力                | 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。                             | ④インタビューテスト<br>⑤音読テスト                       |
| 言語や文化についての<br>知識・理解     | 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとと<br>もに、その背景にある文化などを理解している。 | ⑥定期考査<br>上記①～⑥を総合して、100点満<br>点で評価する        |

|        |                                                                                    |     |     |            |          |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|------------|----------|
| 教科(科目) | 外国語(コミュニケーション英語Ⅱ)                                                                  | 単位数 | 4単位 | 学年(学科・コース) | 2学年(農業科) |
| 使用教科書  | COMET English Communication I (数研出版)<br>WORLD TREK English Communication II (桐原書店) |     |     | 授業形態       | 選択       |
| 副教材    | Seek neo② (第一学習社) ビーコン英和辞典 第2版 (三省堂)                                               |     |     |            |          |

## 1 科目目標

幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月    | 学習項目                                             | 学習活動(指導内容)                                                                                       | 時間       | 評価方法                       |
|------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------|
| 4    | (COMET)<br>L10<br>Ando Momofuku<br>(WORLD TREKⅡ) | ・カップラーメン発明の過程と当事者の苦労を知る。<br>・「関係代名詞」「関係副詞」の用法を学ぶ。<br>・川島永嗣さんの言葉を読んで彼の信条や夢にふれて、人生を豊かにするためのヒントとする。 | 24<br>時間 | 課題提出<br><br>中間考査           |
| 5    | L1 Young People,<br>Be Ambitious                 | ・「S+V+O(=it)+to 不定詞」の用法を学ぶ。                                                                      |          |                            |
| 5    | L1 Young People,<br>Be Ambitious                 | ・「S+V(知覚動詞)+O+C(原形)」「S+V+O+C(過去分詞)」の用法を学ぶ。                                                       | 27<br>時間 | 期末考査<br>音読テスト<br>夏休み課題     |
| 6    | L2 Dear Juliet                                   | ・「ジュリエットクラブ」のボランティア活動を通して、悩みを打ち明ける人々や悩みに答える人々の心理を読み取る。                                           |          |                            |
| 7    | English Grammar<br>Adviser 1, 2                  | ・「現在完了進行形」「現在完了の受身」「不定詞の完了形」の用法を学ぶ。<br>・「SVOC」「完了形」の復習                                           |          |                            |
| 7-8  | 夏休み課題                                            |                                                                                                  |          | 夏課題テスト                     |
| 8    | L3 Battle of the Pets                            | ・イヌとネコのペットとしての適性をさまざまな観点で比較した文を読み、各動物の共通点や相違点を理解する。                                              | 29<br>時間 | 課題提出<br><br>中間考査           |
| 9    | Dogs vs. Cats                                    | ・「it is ~ whether節」「付帯状況」「助動詞+完了形」の用法を学ぶ。                                                        |          |                            |
| 10   | L4 What if...?                                   | ・「もし〜だったら」という願望についての可能性を考えながら、自然界の法則や因果関係について学ぶ。<br>・「wish+仮定法」「仮定法過去完了」「ifを使わない仮定表現」の用法を学ぶ。     |          |                            |
| 11   | L5 Innovative<br>Products                        | ・世界の人々を救った画期的な製品が生まれた経緯について知るとともにアイデア誕生の背景を読み取る。                                                 | 27<br>時間 | 期末考査<br>音読テスト<br>冬休み課題     |
| 12   | English Grammar<br>Adviser 3, 4                  | ・「S+V(be動詞)+C(=that/whyなどで始まる節)」「関係副詞why」「関係代名詞+前置詞」の用法を学ぶ。<br>・「仮定法」「複文」の復習                     |          |                            |
| 12-1 | 冬休み課題                                            |                                                                                                  |          | 冬課題テスト                     |
| 1    | L6 The Power of<br>Japanese<br>Pop Culture       | ・日本のポップカルチャーが持つ外交力について読み、それを生かして自分たちに来ることは何かを考える。<br>・「強調構文」「挿入」「seem to 不定詞」の用法を学ぶ。             | 33<br>時間 | 課題提出<br><br>音読テスト<br>学年末考査 |

## 3 評価規準と評価方法

| 観 点                     | 内 容                                                       | 評価方法                                                                                                                        |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コミュニケーションへの<br>関心・意欲・態度 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。           | 左記の観点を踏まえ、<br>①授業への取り組み<br>(授業態度、質問・発言、学習活動への参加状況など)<br>②提出物の状況<br>③課題テスト・小テスト<br>④音読テスト<br>⑤定期考査<br>上記①～⑤を総合して、100点満点で評価する |
| 外国語表現の能力                | 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。                          |                                                                                                                             |
| 外国語理解の能力                | 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。                         |                                                                                                                             |
| 言語や文化についての<br>知識・理解     | 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 |                                                                                                                             |

|        |                                                 |     |     |            |          |
|--------|-------------------------------------------------|-----|-----|------------|----------|
| 教科(科目) | 英語Ⅱ                                             | 単位数 | 3単位 | 学年(学科・コース) | 3学年(農業科) |
| 使用教科書  | World Trek English Course II NEW EDITION (桐原書店) |     |     | 授業形態       | 選択       |
| 副教材    | Seek neo② (第一学習社)                               |     |     |            |          |

## 1 科目目標

幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月  | 学習項目                                       | 学習活動(指導内容)                                                                                                   | 時間 | 評価方法           |
|----|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 4  | Lesson 7<br>When I Was 85                  | ・ある実験を通して、他者に対する想像力や自分で行動することの大切さを読みとる。<br>「分詞構文(過去分詞)」「倒置」「不定詞の完了形」                                         | 18 | 春課題テスト<br>中間考査 |
| 5  |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 6  | Lesson 8<br>Christmas Truce                | ・「クリスマス休戦」についての説明文を読んで、戦争や平和について、クリスマスの意義について考える。<br>「S+V(be動詞以外)+C(現在分詞/過去分詞)」「否定」「動詞の強調」                   | 20 | 期末考査           |
| 7  |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 8  |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 9  | Lesson 9<br>Save the Amazon<br>Rain Forest | ・アマゾンの現状を通して、環境問題について考える。<br>「同格の that」「with+名詞+分詞」<br>「助動詞+have+過去分詞」                                       | 22 | 中間考査           |
| 10 |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 11 | Lesson 10<br>Happiness for<br>Every Child! | ・強制収容所を体験した人の生き方を通して、希望を失わずに生きることの大切さを考える。<br>「as if+仮定法」「過去完了進行形」<br>「recommend...+(that)+S+(should)+動詞の原形」 | 20 | 期末考査           |
| 12 |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 1  | Reading 2<br>The Notebook                  | ・物語を通して登場人物の心情を理解しながら、英文を読む楽しさを味わう。<br>・新出単語、重要表現を理解し、習得する。                                                  | 25 | 学年末考査          |
| 2  |                                            |                                                                                                              |    |                |
| 3  |                                            |                                                                                                              |    |                |

## 3 評価規準と評価方法

| 項目           | 内容                                                                | 評価方法                                                                                                               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲<br>・態度 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。                  | 左記の観点を踏まえ、<br>① 授業への取り組み(授業態度、質問・発言、学習活動への参加状況など)<br>② 提出物の状況<br>③ 課題テスト・小テスト<br>④ 定期考査<br>上記①～④を総合して、100点満点で評価する。 |
| 表現の<br>能力    | 情報や自分の意見・考えなど伝えたいことを整理して、英語で話したり書いたりできるか。                         |                                                                                                                    |
| 理解の<br>能力    | 英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解しているか。                     |                                                                                                                    |
| 知識<br>理解     | 幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。 |                                                                                                                    |

|       |                        |     |     |      |     |
|-------|------------------------|-----|-----|------|-----|
| 教科    | 家庭（家庭基礎）               | 単位数 | 2単位 | 学年   | 1年生 |
| 使用教科書 | 図説 家庭基礎（実教出版）          |     |     | 授業形態 | 必修  |
| 副教材   | 新課程 図説家庭基礎 学習ノート（実教出版） |     |     |      |     |

## 1 科目目標

家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月            | 学習項目        | 学習活動（指導内容）                                                                                         | 時間 | 評価方法                           |
|--------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------|
| 4<br>5       | 食生活をつくる     | 栄養・食品・調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする。                                      | 16 | 学習ノート、授業プリント、レポート、中間・期末考査、実習態度 |
| 6<br>7       | 衣生活をつくる     | 衣服の機能や着装、材料などの基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。                                           | 10 | 学習ノート、授業プリント、作品提出、期末考査         |
| 8<br>9       | 住生活をつくる     | 住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。                                    | 6  | 学習ノート、授業プリント、中間考査              |
| 10           | 自分らしい生き方と家族 | 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義を理解し、家族の一員としての意識を持つ。                                                      | 6  | 学習ノート、授業プリント、中間考査              |
| 10           | 子どもとかかわる    | 子どもの発達、保育、福祉をとらえて、健全な発達を支える親や社会の役割を理解させるとともに保育への関心を深める。                                            | 6  | 学習ノート、授業プリント、期末考査              |
| 10<br>11     | 高齢者とかかわる    | 高齢者に対する正しい認識から介護の基礎など体験的な学びと役割を知る。                                                                 | 6  | 学習ノート、授業プリント、期末考査              |
| 11<br>12     | 社会とかかわる     | 生涯をとらえて家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。<br>ノーマライゼーションの理念を土台とした社会をつくることが重要であることを理解する。                  | 4  | 学習ノート、授業プリント、期末考査              |
| 12<br>1<br>2 | 消費行動を考える    | 消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する施策について知る。<br>現代の消費生活と環境のかかわりを理解させ、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や生活様式を見直せるようにする。 | 10 | 学習ノート、授業プリント、学年末考査             |
| 3            | 経済的に自立する    | 生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて理解する。                                                            | 6  | 学習ノート、授業プリント、学年末考査             |

## 3 評価基準と評価方法

| 項目       | 内容                                                                              | 評価方法                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 家庭や地域の生活に関心をもったか。<br>生活の充実向上を目指そうとしているか。<br>学んだことを生活に生かそうとする実践的な態度を身につけたか。      | 授業・実習態度<br>学習ノートの内容<br>授業プリントの内容 |
| 思考・判断・表現 | 家庭や地域の生活について見直し、生活課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めているか。<br>衣食住等に関する基礎的・基本的な技術を生活の中で表現できるか。 | レポート・作品の内容<br>定期考査の成績 など         |
| 技能       | 衣食住等に関する基礎的・基本的な技術を身につけているか。                                                    | 上記を総合して評価する                      |
| 知識理解     | 家庭生活の意義や役割を理解したか。<br>家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。                  |                                  |

|       |                   |     |     |      |     |
|-------|-------------------|-----|-----|------|-----|
| 教科    | 家庭（家庭基礎）          | 単位数 | 2単位 | 学年   | 3年生 |
| 使用教科書 | 新家庭基礎（教育図書）       |     |     | 授業形態 | 必修  |
| 副教材   | 新家庭基礎ワークノート（教育図書） |     |     |      |     |

## 1 科目目標

人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2 学習計画

| 月           | 学習項目            | 学習活動（指導内容）                                                           | 時間 | 評価方法                               |
|-------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------|
| 4<br>5<br>6 | くらしのなか<br>の「食」  | 栄養・食品・調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、<br>家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする。    | 26 | ノート、プリント、レ<br>ポート、中間・期末考<br>査、実習態度 |
| 6<br>7      | くらしのなか<br>の「衣」  | 衣服の機能や着装、材料などの基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣<br>生活を健康で快適に営むことができるようにする。         | 4  | ノート、プリント、レ<br>ポート、期末考査             |
| 9           | くらしのなか<br>の「住」  | 住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得<br>させ、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。  | 8  | ノート、プリント、レ<br>ポート、中間考査             |
| 10          | 快適な生活と<br>環境    | 現代の消費生活と環境のかかわりを理解させ、環境負荷の少ない生活を目<br>指して生活意識や生活様式を見直せるようにする。         | 2  | ノート、プリント、レ<br>ポート、中間考査             |
| 10<br>11    | 子どもととも<br>に     | 子どもの発達、保育、福祉をとおして、健全な発達を支える親や社会の役<br>割を理解させるとともに保育への関心を深める。          | 10 | ノート、プリント、レ<br>ポート、中間・期末考<br>査      |
| 11<br>12    | くらしのなか<br>の「消費」 | 家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得させ、現代の消費生活の<br>課題を認識させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。 | 10 | ノート、プリント、レ<br>ポート、期末考査             |
| 1           | 高齢者ととも<br>に     | 高齢者に対する正しい認識から介護の基礎など体験的な学びと役割を知<br>る。                               | 4  | ノート、プリント、学<br>年末考査                 |
| 1           | 人のつながり<br>と福祉   | くらしを支える福祉のあり方を理解する。                                                  | 2  | ノート、プリント、学<br>年末考査                 |
| 1           | 人の一生と家<br>族     | 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義を理解し、家族の<br>一員としての意識を持つ。                    | 4  | ノート、プリント、レ<br>ポート、学年末考査            |

## 3 評価基準と評価方法

| 項 目          | 内 容                                                                   | 評価方法                     |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 関心・意<br>欲・態度 | 人の一生、生活全般について関心を持ち、生活の充実向上を目指して意欲的に取り組む<br>とともに、実践的な態度を身につけている。       | 授業・実習態度<br>授業プリント・学習ノートの |
| 思考・判<br>断    | 人の一生、生活全般について見直し、生活課題を見つけ、その解決を目指して思考を深<br>め、自らの考えを工夫し創造する能力を身に付けている。 | 内容<br>レポートの内容            |
| 技能・表<br>現    | 人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。                                  | 定期考査の成績 など               |
| 知識・理<br>解    | 人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。                                      | 上記を総合的に判断して評<br>価する      |



